

授業概要

近代化によってもたらされたひずみが指摘され、東洋思想をみつめなおす動きがおこっている。東洋思想について、その思想の誕生した歴史的背景、思想内容、そしてその思想がもつ現在の意義を、講義する。さらに各思想が世界各地にどのように伝播し、その地に影響を与えているのかについて、世界的な意義についても講義する。

授業計画

第1回	「東洋思想」とは何か
第2回	インド思想の成立
第3回	釈迦の思想①真理の言葉1, 2
第4回	釈迦の思想②真理の言葉3, 4
第5回	「思想」から「宗教」へ
第6回	世界への伝播
第7回	イスラーム 基本知識
第8回	イスラームの歴史 世界への伝播
第9回	身近なイスラーム
第10回	中国の思想①
第11回	中国の思想②世界への伝播
第12回	「ウエスタン・インパクト」とアジア
第13回	「反近代」と東洋思想
第14回	「非同盟」思想
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

東洋思想の重要事項について基礎的知識を習得し、東洋思想に共通する潮流を理解する。思想家、思想の生まれた歴史的背景、それぞれの思想家、思想内容の関連に留意し、現在における影響、現代的意味を理解する。

履修上の注意

東洋史概説の履修者がのぞましい。

予習・復習

シラバスに従って思想、あるいは思想家についての基本的な知識を予習しておくこと。講義後は、配布されたプリントと参考文献などを読んで知識を深めておくこと。

評価方法

授業中の態度、授業後に回収するリアクショペーパーの内容が50%、学期末の筆記試験50%として総合的に評価する。

テキスト

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。